

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【公表番号】特表2018-519172(P2018-519172A)

【公表日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-027

【出願番号】特願2017-562739(P2017-562739)

【国際特許分類】

B 2 3 P 19/00 (2006.01)

B 2 3 P 19/02 (2006.01)

【F I】

B 2 3 P 19/00 3 0 1 D

B 2 3 P 19/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月25日(2018.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- 送り装置(3)と、

- 阻止位置と解放位置との間で搖動可能な少なくとも1つのレバー(4)を備えた、阻止装置(4)と

を有する、結合部材(2)を位置決めする装置であって、

前記結合部材(2)が前記送り装置(3)によって引き取り領域(I)から接合装置のための引き渡し領域(II)へ移動可能であり、少なくとも1つのレバー(40)が前記阻止位置と前記解放位置との間で搖動可能であり、かつ前記少なくとも1つのレバー(40)が前記阻止位置において、前記引き取り領域(I)から前記引き渡し領域(II)内への前記結合部材(2)の移動を阻止する、ものにおいて、

前記少なくとも1つのレバー(40)に対して変位可能な少なくとも1つの終端ストップが設けられており、該少なくとも1つの終端ストップによって、前記阻止位置から前記解放位置への前記少なくとも1つのレバー(40)の移動が阻止可能であって、

前記少なくとも1つのレバー(40)が、第1のアーム(41)と第2のアーム(42)を有する両側のレバー(40)として形成されており、かつ

前記少なくとも1つのレバー(40)の前記第1のアーム(41)が、前記阻止位置から前記解放位置への前記少なくとも1つのレバー(40)の移動を阻止するために前記少なくとも1つの終端ストップと協働し、かつ前記少なくとも1つのレバー(40)の前記第2のアーム(42)が、前記阻止位置において前記結合部材(2)のための保持ジョーとして機能する、

ことを特徴とする結合部材を位置決めする装置。

【請求項2】

前記阻止装置は、逆方向に搖動可能な2つの両側のレバー(40)を有しており、前記レバー(40)の前記第1のアーム(41)が、前記阻止位置から前記解放位置への前記レバー(40)の移動を阻止するために前記終端ストップと協働し、かつ前記レバー(40)の前記第2のアーム(42)が、前記結合部材(2)用の保持ジョーとして機能する、ことを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項 3】

前記少なくとも1つのレバー(40)に力部材、特にばね部材(45)が対応づけられており、前記ばね部材がレバー(40)を前記阻止位置へ強制移動させる、ことを特徴とする請求項1又は2に記載の装置。

【請求項 4】

前記結合部材(2)が前記送り装置によって前記少なくとも1つのレバー(40)の前記第2のアーム(42)に沿って前記引き渡し領域(II)内へスライド可能である、ことを特徴とする請求項1、2又は3に記載の装置。

【請求項 5】

前記送り装置(3)が、前記少なくとも1つのレバー(40)に対して線形に摺動可能なスライダ(30)を有しており、前記スライダ(30)の第1の部分が終端ストップとして機能する、ことを特徴とする請求項1から4のいずれか1項に記載の装置。

【請求項 6】

前記スライダ(30)が、長手方向において前記第1の部分に対して離隔した第2の部分を有しており、該第2の部分は、アンロック位置を通過した後に前記少なくとも1つのレバー(40)の前記解放位置への運動を可能にするための形状を有している、ことを特徴とする請求項5に記載の装置。

【請求項 7】

前記レバー(40)の前記第1のアーム(41)が、前記スライダ(30)の操作ルート内へ突出する、前記終端ストップと協働する突出部(44)を有しており、好ましくは前記スライダ(30)の前記突出部(44)へ向いた壁が前記第2の部分内に溝(32)を有している、ことを特徴とする請求項6に記載の装置。

【請求項 8】

アイドルストロークにおいて、前記引き渡し領域(II)の方向における前記送り装置(3)の最大の操作移動が、結合部材(2)の位置決めストロークにおいてよりも大きい、ことを特徴とする請求項1から7のいずれか1項に記載の装置。

【請求項 9】

結合部材を引き取り領域(I)へ個々に供給するための供給装置(6)と、
引き渡し領域(II)内に位置決めされた結合部材(2)をセットするためのセッティングピストン(7)と、
送り装置(3)及び阻止装置(4)を有しており、結合部材(2)を前記引き取り領域(I)から前記引き渡し領域(II)内へ移動させることのできる、請求項1から8のいずれか1項に記載の装置と、
を有する、結合部材をセットする装置。

【請求項 10】

結合部材(2)を位置決めする方法であって、結合部材(2)が送り装置によって引き取り領域(I)から接合装置のための引き渡し領域(II)内へ移動され、前記引き取り領域(I)から前記引き渡し領域(II)内への前記結合部材(2)の移動が、阻止装置(4)の阻止位置に配置された少なくとも1つのレバー(40)によって阻止され、前記阻止装置(4)の前記少なくとも1つのレバー(40)が、前記結合部材(2)を前記引き渡し領域(II)へ移動させるために、解放位置へ移動される、ものにおいて、

前記結合部材(2)が前記引き取り領域内に引き取られる場合に、前記阻止位置から前記解放位置への前記少なくとも1つのレバー(40)の移動が、終端ストップによって阻止され、

前記少なくとも1つのレバー(40)が、第1のアーム(41)と第2のアーム(42)を有する両側のレバー(40)として形成されており、

前記引き取り領域(I)内に前記結合部材(2)が引き取られる場合に、前記少なくとも1つのレバー(40)の第1のアーム(41)は前記終端ストップと協働するので、前記阻止位置から前記解放位置への前記レバー(40)の移動が阻止され、かつ

前記引き取り領域(I)から前記引き渡し領域(II)内への前記結合部材(2)の移

動が、前記阻止装置（4）の前記阻止位置に配置された前記少なくとも1つの両側のレバ-（40）の第2のアーム（42）によって阻止される、
ことを特徴とする結合部材を位置決めする方法。